

第318回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成27年5月25日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員9人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
村松 敦	委員	新谷 達夫	委員
碓井 真史	委員	原田 健一	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	須佐 博樹
取締役（報道・制作・国際担当）	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局次長兼制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	羽田 朗

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「コメサバイバル ～“新品種”で未来をつかめ～」

[放送：4月4日（土）14:30-15:00]

(説明：番組プロデューサー 羽田 朗)

2) 会社報告

① 4月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、米の消費低迷と米価の下落、TPP交渉等、国内外の米を取り巻く状況が厳しさを増している中、今春、新潟県が7年かけて絞り込んだ“ポストこしひかり”の新品種発表を受けて、米産地としての生き残りをかけて競争が激化する他県での新品種の開発や米販売の広告戦略を取材したという説明があった。

- 「こしひかり」最良の新潟県民としては、新品種もこしひかり以上のブランドになってほしいという期待も大きく、こしひかりと新品種がメインではなく、情報量も少なかったため物足りなさを感じた。
- 産地間の競争の激しさ、それに関わる人たちの一生懸命な様子、イメージ戦略の重要性など、とても興味深かった。

- 新潟の視聴者は米への関心が高く、それに応えるだけの深い内容の番組を作れば、全国的に発信しても通用するものになると思うので、これからも継続してより高いレベルの米番組を作ってほしい。
- 新潟・北海道・青森を混ぜた展開になっているが、もっと絞って、新潟と青森の新品種がどう違うのか？を、きちっと取り上げると、品種改良に関する様々なことが見えてきたのではないか。
- 北海道や青森という米ブランド後進県の必死さや進捗状況を理解することができた。
- こしひかりに代わる新品種開発の理由や7年前の新品種開発スタートの経緯、他県の新品種と新潟こしひかりの違いなど、全体的に新潟に関わることについてもっと知りたかった。
- 米を扱った番組ではあるが、米だけではなく、お客様に選ばれるということはどういうことを考えさせられた。
- 全体的にメッセージ、インパクト、掘り下げという点で物足りない。共通のテーマでの比較や新品種開発の課題などを盛り込むと、わかりやすく、インパクトもあったと思う。
- こしひかりというブランドに胡坐をかかない新潟の農業界の姿勢に安堵した。
- 産地間の切磋琢磨はマーケットを広げるポイントだと思う。サバイバル＝生き残るということはパイの取り合いではなく、新しい市場をつくることだと読み取った。
- ホクレンが取り組んでいる、東京都内への新しい切り口でのPR活動が紹介されていたが、一方で、新潟のJAはどうしているのかを盛り込んでほしかった。

- 今現在、一番おいしい新潟の「こしひかり」のおいしさを地元の局として、もっとアピールしてほしかった。
- お米は、日本での歴史の積み重ねがあり、味についての研究・基準が生まれ、「日本の米はおいしい」という国際的な評価を得ている。その根源は新潟であり、その新潟で生まれた新品種を試してみようという呼びかけを番組から感じ取った。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

4月 …… 118件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成27年4月27日) から 昨日(平成27年5月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回、第317回審議会では、「夢見る力・追う力～世界で輝け! がんばる新潟人～」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第 318 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 4月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 民間放送新聞（5/13号）
- ・ BPO報告 NO.148、149

以上